

論壇

人々が萎縮、移動に制約

フランスで大規模なテロが起きた。世界中が深刻な問題として受け止めている。たまたま会議でイスに來ているが、經由地のドイツの空港でも通常よりは十分厳しい荷物検査が行われている。米国防務省がフランス行き航空機が、爆発の危険を感じて緊急に着陸したというニュースも報じられている。

IS (イスラミックステート)

が起している問題は、多くの側面を持っている。欧州に大量に流入する難民問題は、シリア情勢が原因となっている。そのシリアで

東大教授(国際経済学) 伊藤 元重

は、ロシアが支援するアサド政権と、欧米が支援する反政府勢力と、テロリスト集団であるイスラミックステートが、三つとも互いに対立を続けている。こうした問題の多くは経済と直接関係があるわけではない。

仏テロと世界経済への影響

影響についてそれほど深刻に語られてきたわけではなかった。それが中東で起きている問題だったから。しかし、フランスでのテロ事件がきっかけで、これが世界経済にもたらす経済的影響について懸念する声が広がってきている。テロで経済が萎縮し、人々の移動

が制約されるようなことになる。自由な人や物の流れが前提となっている世界経済に大きな影響が及ぶからだ。

こうした事態になって思い出すのが、2001年の9・11のテロ事件だ。ニューヨークのワールドトレードセンターなどにテロリスト

牽引車・米国も標的に

結果的にはオニール氏の予想は見事に当たった。では、今回はどうだろうか。困ったことに、そのBRICsが世界経済を牽引する力ではなく、世界経済のリスク要因となっていることだ。もともと

新興国リスクが大きい中で起きた大規模テロ事件。それだけに、テロが及ぼす世界経済への悪影響が懸念されることだ。

幸いなことに、これまでテロは米本土を直接攻撃できていない。米国では景気回復が続く、当分は世界経済の牽引車となることが期待されている。9・11ショックの後、BRICsが演じた役割を、今回は米国が演じてくれるのか。ただ、気になるのは、米国防務省がテロ組織のターゲットであることだ。グローバルなテロは国を選ばない。万が一にも9・11事件規模のテロが米国に起きるようなことになれば、経済への影響も深刻になるだろう。そうしたことが起きないことを強く願っている。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。